

令和7年6月 市議会定例会

令和7年度一般会計補正予算を可決

平塚市議会は、令和7年6月4日から6月27日まで、24日間の会期で6月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、令和7年度一般会計補正予算や条例の一部改正、人事案件など9案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。

また、議員から意見書提出に関する2件の会議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。

ほか、金目公民館体育館の修繕費が措置されました。質疑では、花火大会の観光客の見込み人数や警備に係る人数について問われたほか、金田公民館の体育館の照明の交換や金目公民館の体育館のひび割れの修繕のスケジュールについて質疑がありました。

◆平塚市市税条例の一部を改正する条例を可決

地方税法の一部改正に伴い特定マンションに係る区分所有に係る家屋に対する固定資産税の減額に関する規定を整備するほか、所要の改正を行う条例が提案されました。

常任委員会では、今回の条例改正は地方税法の改正によるものであるが、条例改正による変更点や減税措置の条件、基準について質疑がありました。

採決の結果、全員異議なく可決しました。

以上、左記で紹介する経費などが計上され、採決の結果、全員異議なく可決しました。

また、本会議5日には、議員提案による女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書が提出されました。

採決の結果、賛成多数で可決しました。



「第73回湘南ひらつか七夕まつり開催」
(撮影日 令和7年7月4日)

今定例会では、15億1826万千円の一一般会計補正予算が提案されました。

民生費では、令和6年度に実施した定額減税の調整給付において不足が生じた人を対象として支給する不足額給付に係る経費が措置されました。また、中国残留邦人等支援システム及び生活保護システムに係る改修費が計上されました。衛生費では、予防接種健康被害者に対する補償金が措置されました。商工費では、湘南ひらつか花火大会の魅力の向上及び安全強化を図るための経費が計上されました。土木費では、ひらつかアリーナにおけるバスケットゴールの更新経費が計上されたほか、都市整備のための指定寄附金の受領に伴う財源充当補正がされました。教育費では、公金収納代行業者の変更に伴う学校給食費管理システム改修費が計上されました。また、金田公民館の大規模改修に係る経費が計上された。

一般会計補正予算の一部を紹介

●魅力ある花火大会開催事業

花火大会の魅力向上及び会場の安全性強化のための経費……………460万円

●馬入ふれあい公園施設維持管理事業

ひらつかアリーナのバスケットゴールを更新するための経費……………1378万円

●地区公民館整備事業

金田公民館の大規模改修工事を実施するための経費……………1億8411万円

●地区公民館管理運営事業

金目公民館体育館のひび割れを修繕するための経費……………1780万円

主な内容

総括質問	2～7面
清風クラブ	2・3
坂間正昭 野崎審也 片倉章博	
湘南フォーラム絆	4
府川正明 白井照人 山原栄一	
公明ひらつか	5
秋澤雅久 五十嵐豊 岡崎通子	
しらさぎ・無所属クラブ	6
渡部りょう 元島しん	
日本共産党平塚市議会議員団	6
松本敏子	
無所属	7
佐藤由美子	
常任委員会の審査概要	3面
審議の結果	8面

◆市功労者に2議員
永年勤続議員も表彰
今定例会の初日の本会議終了後に、市議会議員在職10年以上となる諸伏清児議員(清風クラブ)と高山和義議員(日本共産党平塚市議会議員団)が、市政の発展に尽力した功績をたたえ

○山川勝久氏(諏訪町)
○鈴木正行氏(城所)
○深澤敦氏(黒部丘)
○中村俊也氏(中里)

また、山原栄一議員(湘南フォーラム絆)と出村光議員(湘南フォーラム絆)が全国市議会議長会から市議会議員在職30年の表彰があり、議長から表彰状の伝達披露がありました。

◆人事案件に同意
任期満了を迎える人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。

併せて、全国市議会議長会からも市議会議員在職10年の表彰があり、議長から表彰状の伝達披露がありました。

市功労者表彰・議員在職10年

諸伏 清児議員
(清風クラブ)

高山 和義議員
(日本共産党平塚市議会議員団)

議員在職30年

山原 栄一議員
(湘南フォーラム絆)

出村 光議員
(湘南フォーラム絆)

副議長在職4年

出村 光議員
(湘南フォーラム絆)

市功労者及び永年勤続議員を表彰

総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、13人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ

平塚市の今後の展望

坂間 正昭 議員



市長4期目の折り返し

問 本市の魅力をさらに生かす市の方向性を伺う。

市長 子育て支援をはじめ、将来を見据えた施策を展開している。これから

も、人と人との絆をさらに深め、本市の魅力を生かした施策に弾みをつけ、前に進めていく。

問 ひらつかシーテラスの進捗状況を伺う。

市長 エントランス棟やレストラン棟、右折帯設置の

工事を順調に進めている。

問 平塚市水産物地方卸売市場の今後を伺う。

市長 昨年11月に協議会から再整備に関する提案があり、庁内で検討した。事業者選定には公平性、公正性、透明性の確保が必要と判断し、今後は公募型プロポーザル方式で広く事業者を募り、周辺施設を含む再整備を検討していく。

問 カウナス市との今後の交流について伺う。

社会教育施設の在り方

問 中央公民館の今後の展開を伺う。

市長 4月に庁内検討組織を立ち上げ、ホールなど将来的に必要な機能や規模などの検討を進めている。

問 ラスカ平塚にある駅の図書室の利用状況を伺う。

市長 1日に約300人の利用がある。

問 代替施設ではなく、継続的な使用が可能か伺う。

社会教育部長 中央図書館の工事終了後も活用を前提に、閲覧席や図書の充実に

図り、拡充していきたい。

神奈川大学湘南ひらつかキャンパス跡地活用

問 地区計画による新たな土地利用の進め方を伺う。

企画政策部長 平塚市都市マスタープランの改訂後に事業者と地域の人の協議により、地区計画の原案が市へ申し出され、手続きに入る。その後、市が地域説明会の開催や縦覧、都市計画審議会へ諮問などを行

い、地区計画が決定する。

問 住民の声をどのように共有していくのか伺う。

企画政策部長 市が地域と大学、組合とのパイプ役となり、調整していきたいと考えている。

平塚市小規模特認校

問 土屋小学校を指定した背景や経緯、特色を伺う。

教育長 今後さらに小規模化が進み、教育活動に制限が生じる可能性を課題と捉え、協議を進め指定した。

特色は、地域と連携した体験活動や、認め合い・学び合い・高め合いの学習への取り組みがある。また県内初のセーフティプロモーションスクール認証校であり、全校で取り組みを進めながら、全員が幸せになれる学校を目指している。

▼このほかの質問 介護予防から介護認定 滞在型市民農園(クラインガルテン) 構想 消防団の活動強化

市長 本市は歴史や文化がある素晴らしいまちである。まずは職員が市に愛着を持ち、まちづくりの考え方や行動に加わり、まちを愛する気持ちを政策として表す風土や組織づくりが、100周年に向けた魅力あるまちづくりの大きな力になると考える。

問 令和7年度当初予算では過去最高の税収を見込んでいるが、要因や今後の見通しを伺う。

総務部長 賃金上昇に伴う個人所得の増加や定額減税の終了などにより個人市民税が大幅に増加するほか、企業の業績回復や積極的な投資などにより、法人市民税や固定資産税も増収となるなど、過去最大の税収を見込んでいる。

問 将来に向けた税源の確保策を伺う。

企画政策部長 ツインシティ大神地区土地区画整理事業や本社移転など、本市

の強みを生かした経済活性化策や雇用の確保などの各種施策に取り組んできた。また、市長による企業へのトップセールスを行っており、取り組みが実を結び形になっている。今後も持続的、効果的に進めていくことが重要と考えている。

議員から、次の意見書が提案され、賛成多数で可決しました。ホームページにも掲載しています。

可決した意見書

女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書

女性差別撤廃条約選択議定書は、女性差別撤廃条約の実効性を高めるために、1999年に国連総会で採択された付属の条約であり、女性差別撤廃条約の締約国189か国中、115か国が選択議定書を批准しているが、わが国はまだ批准していない。選択議定書は、個人通報制度と調査制度の二つの手続を定めており、批准により、国際的な人権基準に基づき女性の人権侵害の救済や、性別による不平等をなくすための効力が強まることが期待される。国連の女性差別撤廃委員会は、日本政府に対し、選択議定書の批准を繰り返し勧告しており、第5次男女共同参画基本計画では、「選択議定書については、諸課題の整理を含め、早期締結について真剣な検討を進める」と明記されているところである。国においては、この状況を真摯に受け止めて、男女平等を実現し、全ての人が尊重される社会を作るために、早急に選択議定書の批准に向けて動き出すべきである。

よって、平塚市議会は国に対し、選択議定書を批准するよう強く要望する。

異次元の少子化対策 出会いの機会の促進

問 昨年は結婚を希望する人への支援を行い、今年はさらに出会いの機会を促進するが、進捗状況を伺う。

企画政策部長 県の結婚支援事業「恋力ナ！プロジェクト」に参加を希望し、今年度中の市内開催に向けて場所や時期、人数などを県と調整している。

健康・こども部長 議員指摘のとおり、地域全体で子どもを見守り、支え、育てていきたいと考えている。

健康・こども部長 議員指摘のとおり、地域全体で子どもを見守り、支え、育てていきたいと考えている。

働きながら子育て

問 駅周辺地区の認可保育所設置への取り組みについて市の見解を伺う。

健康・こども部長 入所申し込み数や人口分布など地域の特徴を含め、少子化と

一花水河口の石碑

問 景勝地である花水河口の市有地に、90年前に建てられた石碑がある。石碑の維持管理について伺う。

防災・危機管理監 石碑は、昭和10年に神奈川新聞社の前身である横浜貿易新報社から県下名勝史蹟45佳選として当該地を選定、建立し、寄贈されたものである。当該地は海岸河川に隣接しているため、台風や大

雨などの影響も留意しながら維持管理に努めていく。

異次元の少子化対策 出会いの機会の促進

問 昨年は結婚を希望する人への支援を行い、今年はさらに出会いの機会を促進するが、進捗状況を伺う。

企画政策部長 県の結婚支援事業「恋力ナ！プロジェクト」に参加を希望し、今年度中の市内開催に向けて場所や時期、人数などを県と調整している。

健康・こども部長 議員指摘のとおり、地域全体で子どもを見守り、支え、育てていきたいと考えている。

働きながら子育て

問 駅周辺地区の認可保育所設置への取り組みについて市の見解を伺う。

健康・こども部長 入所申し込み数や人口分布など地域の特徴を含め、少子化と

過去に発行した議会だより

市議会ホームページでは、これまで発行したひらつか議会だよりをご覧ください。





『夢ある未来』平塚を創る
平塚駅周辺地区将来構想

片倉 章博 議員

問 各通里や公園などの将来イメージについて、どのように進めていくか伺う。

駅周辺地区整備担当部長

将来イメージは、まちづくりを進めるために理想像を示したものであり、実現に向け、地権者など関係者との協議を始め、社会実験による検証やまちづくりのガイドライン作成などにより整備内容を固め、設計・整備につなげていく。

問 フラッグシッププロジェクトの選定理由と進め方を伺う。

駅周辺地区整備担当部長

フラッグシッププロジェクトは駅周辺地区の活性化に向けた、まちのリニューアルを図る重要なプロジェクトになる。今後、関係者との調整や社会状況の変化などを捉えながら、プロジェクトを進めていく。

問 各通里や公園は市の所有であるため、考え方を示す必要があるが、見解を伺う。

駅周辺地区整備担当部長

既にガイドラインができていく路線など、早急に着手できるかを沿線の人たちと調整し、この先5年間の計画を今年度中に作っていきたいと考えている。

問 4つのフラッグシップの実施計画を作るべきだと思うが、見解を伺う。

駅周辺地区整備担当部長

フラッグシッププロジェクトについては、それぞれの地区の関係者などと調整し、各々の在り方などを整理してから計画を立てていくものと考えている。まずは、それらの在り方の検討をし、事業手法などが見え

てきた後、実施計画などを作成していきたいと考えている。

みんなで行こう
ひらつかシテラス

問 公益社団法人平塚青年会議所から平塚商工会議所に対し、東京箱根間往復大学駅伝競走の平塚中継所としての活用が要望書として提出されている。ひらつかシテラスを箱根駅伝の中継地点とすること、メディアなどの露出が増え、本市のPRにもつながると考えるが、見解を伺う。

都市整備部長

中継地点の変更などは、当該駅伝競走の主催者が決定する事項であると認識しているが、本公園は、本市の情報発信をしていく拠点と捉えており、箱根駅伝の中継地点となった場合は、テレビ中継され、多くの人に公園や海の魅力を知ってもらうきっかけとなり、本市のPRにつながることを期待でき

る。また、平塚中継所はほかの中継所と異なり、公道上でたすきを渡しており、安全面からも有効ではないかと考えている。

子ども
居場所づくり

問 地区公民館とひらしん平塚文化芸術ホールとの活用について伺う。

社会教育部長

地区公民館では、部屋の活用や小学生から高校生までの利用促進のために、利用されていない会議室を学習スペースとして開放する事業を、令和7年2月と3月に試験的に4つの館で実施した。さらに7月と8月には、試行する館を拡大し、その結果を検証する。ひらしん平塚文化芸術ホールでは、エントランスホールやホワイエなどに机や椅子、ソファなどを配置し、フリースペースとして開放しており、中学生や高校生にも活用されている。

1面掲載写真を募集しています

平塚市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、市内を撮影した四季折々の風景など、本市の魅力あふれる写真を募集しています。

今回は、第239号（令和7年11月7日発行予定）に掲載する写真を募集します。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。



（議会局 ☎21-8791）

清風クラブ 所属議員



佐藤 貴子 議員



数田 俊樹 議員



諸伏 清児 議員



須藤 量久 議員



黒部 栄三 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案2案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第47号 平塚市市税条例の一部を改正する条例

問 地方税法の改正によるものであるが、改正点を伺う。

答 長寿命化に資する大規模修繕を行った一定の要件を満たすマンションの固定資産税の減額措置である。マンション管理組合の管理者などから書類が提出され、要件に該当すると認められた場合、今までは区分所有者からの申請だったが、そちらがなくても減額措置を適用することができることを追加する。

○議案第48号 令和7年度平塚市一般会計補正予算

問 観光費の魅力ある花火大会開催事業について、花火の打ち上げ数と観光客の見込み人数、警備員の人数を伺う。

答 打ち上げ数は、3千発を予定している。また、観光客の見込み人数は、8万5千人から9万人を想定しており、警備員の人数は、全体で100人程度を配置する。

都市建設

議案1案件は原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第48号 令和7年度平塚市一般会計補正予算

問 馬入ふれあい公園費の馬入ふれあい公園施設維持管理事業について、今回何対のバスケットゴールを更新するのか、併せて購入費の内容を伺う。

答 1対更新する予定である。購入費の内容は、バスケットゴール1対と古いバスケットゴールの撤去費用である。

問 現在1基が使えないとのことだが、その理由を伺う。

答 ゴール1基について、完全に壊れているものではないが、油圧ダンパーからオイルが漏れており、メーカーの点検でこれ以上使用すると危ないと分かったため、使用できない状況である。

問 定期点検で事前に分らなかったのか伺う。

答 毎年点検を行っており、経年劣化はあったが、利用について支障がないと判定を受けていたため使用を継続していた。

教育民生

議案1案件は原案どおり可決すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

○議案第48号 令和7年度平塚市一般会計補正予算

問 公民館費の地区公民館整備事業（金田公民館大規模改修工事）（継続費）（新規）について、工事の規模と内容、地域への説明について伺う。

答 工事は、エレベーターの設置と内外装の更新、老朽化している設備機器の更新が主なものになる。また現在、別棟になっている町内福祉村が公民館の中へ移転する計画となっている。地域へは改修の案の段階から、利用者団体や地域からの要望を聞きながら、説明をしている。また工事中は、吉沢公民館で業務を行うことを説明している。

問 新築工事にしなかった理由を伺う。

答 建て替えと大規模改修の費用を比較検討し、建て替えよりも大規模改修の方がかなり低かったためである。

環境厚生

議案3案件は全て原案どおり可決すべきもの、諮問1件は棄却すべきものと答申すると決定しました。

○議案第48号 令和7年度平塚市一般会計補正予算

問 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付費の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業（新規）について、令和6年度の定額減税の調整給付の不足分を給付するための補正だが、対象者の見込み数と、通知の発送時期を伺う。

答 対象となる人数は、7年1月1日に本市に住所を有する人の課税情報を基に算出し、約3万8千人を見込んでいる。通知の作成に概ね1か月時間を要するため、発送時期は早くても、7月下旬である。

問 予防費の予防接種健康被害救済事業について、予防接種の健康被害者に障害年金を支給するための補正だが、対象人数を伺う。

答 健康被害の認定は16件である。

湘南フォーラム絆



どう守る地域の安全

府川 正明 議員

地域の治安確保

問 本市もいくつかの交番が統廃合されている。地域の治安を確保していくための取り組みを伺う。

市長 平塚市防犯協会及び平塚警察署との連携が大切だと考える。防犯パトロールや子どもの見守りなど、地域住民の防犯意識の向上を図る防犯キャンペーンや防犯教室などを実施しており、地域住民との連携を深めていくことで、地域の安全を高めていきたい。

子どもを守る取り組み

問 「子ども110番の家」は、2008年末には全国に約209万か所あったが、2023年には約144万か所に減少した。核家族化が進み、子どもだけになる時間が増えている。学校の防犯教育と地域防犯をリンクさせ、防犯への意識を高める必要について伺う。

市長 各学校では児童生徒の発達段階に応じて、日常生活に潜むさまざまな危険を予測・回避し、安全な行動ができるよう防犯教育の充実に努めている。地域の防犯活動の一つとして、PTAや地域ボランティアと

豊かな暮らしと脱炭素につながる取り組みへの意識が広がってきていると考えている。

問 脱炭素化に関する補助の対象と、今年度追加された内容を伺う。

環境部長 「平塚市環境基本計画」における温室効果ガス削減の取り組みとして、平成30年度からZEHの導入に対し補助を実施した。7年度は、既存住宅の断熱リフォームへの補助やV2H充放電設備、家庭用省エネ給湯設備を補助対象に追加した。

脱炭素化への取り組み

問 ひらつかコッププランの成果を伺う。

環境部長 ひらつかコッププランは、市民の意識啓発を目的に取り組みを宣言するものであり、令和6年度は多くの宣言があった。

平塚市水産物地方卸売市場の今後は

問 平塚市水産物地方卸売市場と周辺整備事業の進捗

平塚市の環境政策



臼井 照人 議員

問 脱炭素社会と新たな循環型社会の構築に向けた取り組みと成果を伺う。

環境部長 主な取り組みとして、「平塚市環境基本計画」に基づき、ひらつかコッププランやZEHの促進を図った。また、生ごみの減量化、食品ロス対策の取り組みを進めた結果、1人1日当たりのごみ排出量は大幅に減少し、令和12年度の目標を達成している。啓発活動や協働の取り

状況を伺う。

市長 民設民営化については、卸売業者が市の支援を受けながら進めるとし、令和6年度に「平塚市地方卸売市場整備基本計画」を策定した。卸売業者と関係企業から成る協議会からは、卸売市場を含む周辺施設の再整備に関する提案がされ、市は公平性、公正性、透明性を確保するため、公募型プロポーザル方式を視野に入れた検討が必要と判断した。

スマート農水産業

問 これまで水産業の申請はないとのことだが、今後の取り組みを伺う。

市長 今後も平塚市漁業協同組合と連携し、スマート水産業に関する最新情報などを提供しながら、漁業者の要望を適切に把握していく。

このほかの質問 無電柱化ヤングケアラー



新時代に向けてさらに輝くまちへ
山原 栄一 議員

コミュニティ交通や次世代のモビリティ

問 導入は、現在の延長で考えるのではなく、未来から現在を俯瞰した取り組みに転換するチャンスと考え

まちづくり政策部長 コミュニティ交通は路線バスを補完するもの、次世代モビリティはコミュニティ交通の手段の一つとして、導入を検討する。

市民に情報発信していく。

問 「平塚市地球温暖化対策実行計画（事業事業編）」のCO2の排出削減が改定された。目標を達成するための施策を伺う。

環境部長 公用車の電動化や照明器具のLED化、公共施設の屋根を使った太陽光発電設備の設置のほか、プラスチックごみの再資源化を進めていく。

問 今後の主力となり得る代替補完的なエネルギーをどのように捉えているのか伺う。

環境部長 環境省は再生可能エネルギーの導入支援を

大雨でも浸水しないまちづくりに向けて

問 昨年の台風10号の被害を忘れてはいけない。大雨に対する市長の思いを伺う。

市長 昨年、台風などの大きな災害にしっかりと対応するための補正予算を計上した。具体的に対策を進め、職員も共有しながら対応に努めていきたい。

令和6年台風10号被害の対策状況は

問 河川の対策状況を伺う。

副市長 金目川の片岡地区吾妻橋下流左岸と鈴川の岡崎地区大畑橋上流は、河川管理者の県により応急復旧を完了した。本復旧工事は、金目川の片岡地区は7月末完了、鈴川の岡崎地区は秋頃開始の予定である。

会議録は8月下旬に公開

本会議や各常任委員会での質問や答弁などは、会議録にまとめて公開しています。

6月定例会の会議録は8月下旬から公開します。市議会ホームページや各地区の公民館、各図書館などでもご覧になれます。

インターネット中継

本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。

各議員の質問内容を詳しく知りたい方は、市議会ホームページからアクセスしてください。議員、会派、ことばなどを検索して映像を選べます。

録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。



声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ
議会局 ☎21-8791



湘南フォーラム絆 所属議員



久保田 聡 議員



出村 光 議員

公明ひらつか



リーダーシップ発揮し、
持続可能な市政運営を

秋澤 雅久 議員

財政運営と 物価高騰対策

問 日産自動車の2万人規模の人員削減の報道に対し、経済界や商工会議所の反応、関連企業も含めた現在の動きをどう捉え、市長はどう動いたか伺う。

市長 日産車体から、憶測に基づくもので事実ではないと連絡があったほか、日産自動車からも何も決まっていな

いと説明があったことから、日産自動車及び日産車体からの正確な情報収集を行っていく。また、経済界など関連企業からも驚きの声は聞いているが、現段階では大きな動きはないと把握している。

問 物価高騰対策による支援の状況と、重点支援地方交付金の活用を伺う。

市長 現在、国の総合経済対策と連携し、非課税世帯への給付金の給付をはじめ、中小企業などに対する賃上げ応援奨励金の支給や、小中学校などに対する給食食材費支援やスターライトマネーによる市内経済の消費喚起など、きめ細やかな物価高騰対策を迅速かつ切れ目なく講じている。重点支援地方交付金の活用については、米関税措置による影響など社会経済環

境の変化や国の動向を注視しながら、さらなる支援の検討を進め、市民生活を守り支え、経済活動への影響を最小限に抑える対策を講じていく。

自治体情報システム の標準化・共通化

問 自治体情報システムの標準化・共通化の内容及目的を伺う。

デジタル推進担当部長

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、住民記録や税金などのシステムを国が示した仕様書に適合した標準準拠システムに移行する事業であり、地方公共団体における情報システムの維持管理に関する人的、財政的負担を軽減し、住民サービスを向上させる取り組みを迅速に全国へ普及させる環境づくりを目的としている。

デジタル推進担当部長

システムの標準化に合わせた業務フローの見直しなどによる行政運営の効率化、システムの保守や運用に係るコストの削減などの効果が期待される。

問 行政の効率化や市民サービス向上に向け、独自にカスタマイズしてきたシ

ステムへの影響を伺う。

デジタル推進担当部長

国が策定した地方公共団体情報システム標準化基本方針にて、標準準拠システムのカスタマイズは原則認められていないため、独自にカスタマイズした機能のうち、標準仕様書に記載のない機能については、標準準拠システムに実装することが出来ない。

問 デジタル人材の育成につ



市民を守る災害対策に向け
応援職員の派遣要請を

五十嵐 豊 議員

問 大規模災害発生時に全国の地方公共団体の人的資源を活用し、被災市区町村を支援する、緊急対策職員派遣制度の活用を伺う。

防災・危機管理監

令和7年4月、平塚市地域防災計画改訂の際に、統括部に職員・受援班を新たに組織し、応援職員要請を明示するなど、体制を整えた。

問 地域防災計画には災害対応力を超える判断した場合に、地震発生後半日以内を

に目的に応援要請を行うとある。災害対応力を超える判断した場合と、被害の全容が把握できない場合を追

加し、応援要請を行うべきだと思いが、いかがか。

防災・危機管理監

しっかりと情報収集して、応援要請をしていきたい。

ついて伺う。

デジタル推進担当部長

本市では平塚市デジタル人材育成プランを作っており、DX推進リーダー以外にも、それぞれの職員や役職に応じた立場の役割など、人材育成プランに基づいて研修を行っている。これにより、ベンダーとの打ち合わせができる人材などの育成が図られている。

このほかの質問

市民病院の経営強化について、子どもの読書環境の整備について、GIGAスクール構想第2期の取組みについて



さらに思いやりあふれるまち
「あったかひらつか」に

岡崎 通子 議員

視覚障がい者へ 支援の拡充

問 視覚障がいの方は、多くの困難と向き合い日常生活を送っている。視覚障害者協会からは、同行援護や移動支援の介助者が足りず困っているとの声が届いている。本市の取り組みを伺う。

福祉部長 事業所が運営しやすい体制の整備など、抜

受援計画に協定内容の記載があるが、実効性の確保について伺う。

防災・危機管理監

災害対策本部の各部班では協定団体も含め訓練を実施し、その際

に生じた課題を踏まえ、各部班のマニュアルの見直しを図り、平時から協定の

実効性確保に努めている。

問 中小企業強靱化法が施行され、小規模事業者の事



上野 仁志 議員



石田 美雪 議員

公明ひらつか所属議員

議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。

本市議会では開かれた議会とするため、議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。

議会図書室には、市の行政資料や地方自治の政策に関する書籍・雑誌などがあります。また、会議録や議会だよりを配架し、情報発信に努めています。

ご利用いただける時間は、午前8時30分から午後5時までの間となります。市役所にお越しの際には是非お立ち寄りください。



会議録検索のご利用を

市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。



ある。システムについて見解を伺う。

福祉部長 日常生活のちょっとした困りごとを解決するサービスとして、有効だと認識しているが、課題や確認が必要な点もあるため、今後の展開を注視していきたい。

学校における食品 ロス削減の取り組み

問 毎月19日は、食育の日である。市が残さず食べる週間や食べ残しを考

える日などのキャンペーンを設定することで、子どもたち全体に意識を広げることができると思うが、考えを伺う。

教育総務部長 年間を通じて、食育や食べ残しを考

える取り組みを行っている。今後も食育の日などをきっかけに、さまざまな機会を通じて、子どもたちの意識を広げていくよう努めていく。

市議会ホームページ

市議会に関する情報は、市議会ホームページからご覧になれます。



高山 和義 議員

可決した

意見書

議員から、次の意見書が提案され、賛成多数で可決しました。ホームページには全文を掲載しています。

■子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書（抜粋）

通常学級の8.8%の児童生徒が学習面又は行動面で著しい困難を示しており、この数値は10年前よりも高くなっている調査報告となっている。それぞれの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導体制の充実が強く求められている。

全国の不登校児童生徒数は11年連続増加し、令和5年度は過去最多の約35万人と報告されている。この問題の解決には、不登校児童生徒を含むすべての子どもたちがいつでも安心して過ごせる居場所や人員体制を整えることが必要である。昨年度、神奈川県は国に先駆けて、全中学校区に「校内教育支援センター」の支援員を配置した。現場からは不登校傾向にある児童生徒が安心して学校生活を送ることができていると肯定的な声が多数聞かれる。しかし、支援員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの不足や常勤化されていない現状に加え、今年度は昨年度に比べ支援員の任用時間が減少し半分ほどになった。その結果、より一層児童生徒のニーズに応えていない状況となっている。子どもたちの育つ権利や学習権の視点から見ても重大な社会問題であり、県だけではなく、国全体で解決すべき課題と考える。

よって、次の事項について配慮されるよう、強く要望する。

- 令和8年度より段階的に開始される中学校の35人学級に必要な教職員の確実な配置をすすめるとともに、小学校での30人学級実現に向けた、教職員定数改善を図ること。
- 不登校児童生徒を含むすべての子どもたちがいつでも安心して過ごせる人員体制の整った居場所をつくるために、支援員やスクールカウンセラー等の多様な専門性を有するスタッフの増員と常勤化をすすめること。
- 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

無所属

公共施設の改修工事、休館、閉館で市民の行き場は

佐藤 由美子 議員

問

文化公園会館の設置目的に合った団体は減免措置がされるが、どのような団体で、減免はどれくらいされるのか何う。

産業振興部長 労働者の能力の向上や、経済的地位の向上を目的とする勤労者団体や青少年で構成、または青少年の育成や、更生を目的とする青少年関係団体、教職員、平塚市立学校などの教育を目的とする団体などである。これらの団体は10割の減免対象になる。

問

中央公民館休館に伴う説明会が開催されたが、利用団体からは不安の声や多数の質問が出た。市民の声をどう捉えたのか何う。

社会教育部長 地区公民館の登録要件の緩和や新施設の要望、建設に伴う財政負担の心配など、さまざまな意見があった。多様な意見があることを認識し、庁内で共有していく。

問

黒部丘に民間企業による保育園建設計画があり、近隣住民からは道幅などが狭く、子どもの安全が確保できないなどの反対意見が出ている。民間による計画ではあるが、市の関わり方を伺う。

健康・子ども部長 県の認可に向けた書類作成の支援や近隣住民へ丁寧な説明を行うよう指導した。また、地元説明会にも同席し、保育所整備の必要性和選考の経緯を説明し、近隣住民の理解を求めた。

無所属議員

小泉 春雄 議員

請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託して審査します。その後、委員会審査の結果を本会議へ報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものですが、紹介議員を必要とせず、提出後は議会運営委員会でその取り扱いについて協議します。

5 月臨時会の審議の結果

令和7年5月15日に市議会5月臨時会を開催し、市長から専決処分及び人事案件に関する議案が提出され、審議の結果、次のとおり承認、同意しました。また、議員から平塚市議会委員会条例の一部を改正する条例に関する会議案が提出され、原案どおり可決しました。

市長提出議案

議案番号	件 名	結果
第37号	専決処分の承認について〔平塚市市税条例の一部を改正する条例〕	承認
第38号	専決処分の承認について〔令和6年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
第39号	専決処分の承認について〔令和6年度平塚市競輪事業特別会計補正予算〕	承認
第40号	専決処分の承認について〔令和6年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算〕	承認
第41号	監査委員の選任について	同意
第42号	監査委員の選任について	同意

議員提出議案

会議案番号	件 名	結果
第2号	平塚市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決

報 告

報告番号	件 名
第2号	専決処分の報告について

審議の結果

市長提出議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席
(各会派の正式名称はページ左下に記載しています)

議案番号	件 名	結果	清	湘	公	し	共	A	B
第43号	功労者の表彰について	可決	○	○	○	○	○	○	○
第44号	功労者の表彰について	可決	○	○	○	○	○	○	○
第45号	功労者の表彰について	可決	○	○	○	○	○	○	○
第46号	功労者の表彰について	可決	○	○	○	○	○	○	○
第47号	平塚市市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第48号	令和7年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第49号	令和7年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第50号	令和7年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第51号	人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○

諮 問

諮問番号	件 名	結果	清	湘	公	し	共	A	B
第1号	督促処分についての審査請求に係る諮問について	棄却すべきものと答申	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

会議案番号	件 名	結果	清	湘	公	し	共	A	B
第3号	平塚市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第4号	女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書	可決	○	○ 4欠1	○	○	○	○	○
第5号	子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	×

報 告

報告番号	件 名
第3号	継続費の通次繰越しの報告について
第4号	繰越明許費の繰越しの報告について
第5号	公営企業会計予算繰越しの報告について
第6号	公益財団法人平塚市まちづくり財団の経営状況について
第7号	公益財団法人平塚市生きがい事業団の経営状況について

請 願

請願番号	件 名	付託委員会	結果
令和6年 請願第5号	女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求める請願書	—	みなす採択
第1号	子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願	教育民生 常任委員会	採択

※「みなす採択（不採択）」とは、同一会期中において、既に同一趣旨、同一目的の議案又は請願が議決されている場合の請願について、既になされた同一趣旨、同一目的の議案又は請願の議決結果により「採択」または「不採択」とみなして処理する取扱いのことです。

会派名等の表記について

審議結果一覧表では、会派名等を略称で表記しています。正式名称等は次のとおりです。
清……清風クラブ（8名）
湘……湘南フォーラム絆（5名）
公……公明ひらつか（5名）
し……しらさぎ・無所属クラブ（4名）
共……日本共産党平塚市議会議員団（2名）
A……佐藤由美子（無所属）
B……小泉春雄（無所属）
※臼井照人議員は5月1日付けで湘南フォーラム絆に加入しました。
※小泉春雄議員は5月20日付けで湘南フォーラム絆を脱会し、無所属となりました。

議会報編集委員会

編集委員 五十嵐豊 黒部栄三
はた文昭 府川正明
議 長 佐藤貴子
副 議 長 久保田聡

市議会の傍聴について

○市議会の本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。本会議では、車いす席やお子様連れの方のための特別傍聴席も設けています。会議の開催日に平塚市庁舎本館8階にお越しください。
○9月定例会の本会議と常任委員会は、右記日程での開催を予定しています。本会議と常任委員会は午前10時に開会の予定です。
○定例会本会議はケーブルテレビ（SCN）での生中継と当日夜の録画放送、インターネットでの生中継と録画中継の配信を行っています。

問い合わせ
平塚市議会 議会局 ☎0463-21-8791

9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/24	8/25	8/26 本会議 〔提案説明 など〕	8/27	8/28	8/29	8/30
8/31	9/1	9/2	9/3	9/4 本会議 〔総括質問〕	9/5 本会議 〔総括質問〕	9/6
9/7	9/8 本会議 〔総括質問〕	9/9 本会議 〔総括質問〕 決算特別委員会	9/10	9/11 常任委員会	9/12 常任委員会	9/13
9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19 本会議 〔表決など〕	9/20
9/21	9/22	9/23	9/24 総務経済・ 都市建設 分科会	9/25 教育民生・ 環境厚生 分科会	9/26 各分科会 予備日	9/27
9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3 決算特別 委員会	10/4
10/5	10/6	10/7 本会議 〔表決など〕	10/8	10/9	10/10	10/11